

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2016年6月30日(30.06.2016)



(10) 国際公開番号

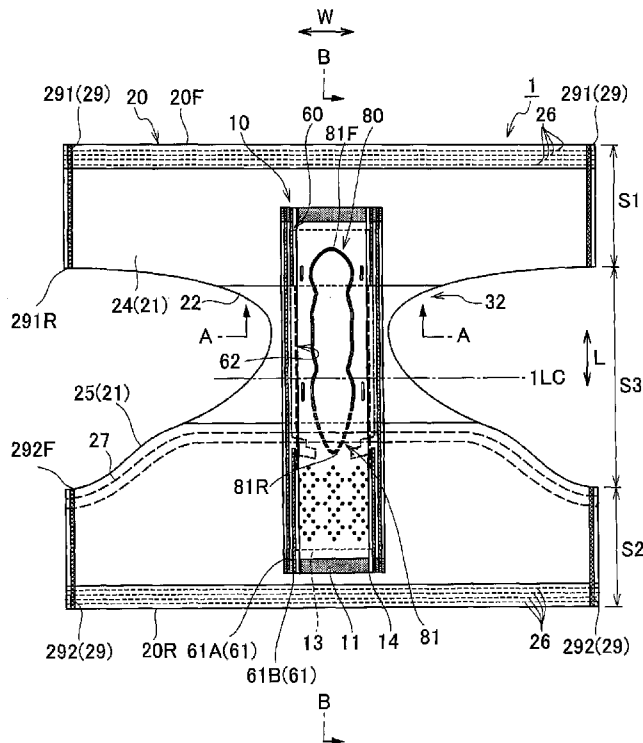
WO 2016/104341 A1

- (51) 国際特許分類:
A61F 13/15 (2006.01) A61F 13/53 (2006.01)
A61F 13/472 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2015/085424
- (22) 国際出願日: 2015年12月17日(17.12.2015)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2014-266383 2014年12月26日(26.12.2014) JP
特願 2014-266413 2014年12月26日(26.12.2014) JP
- (71) 出願人: ユニ・チャーム株式会社 (UNICHARM CORPORATION) [JP/JP]; 〒7990111 愛媛県四国中央市金生町下分182番地 Ehime (JP).
- (72) 発明者: 加藤 伸亨 (KATO, Nobuyuki); 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内 Kagawa (JP).
- (74) 代理人: フェリシテ特許業務法人 (FELICITE PATENT PROFESSIONAL CORPORATION); 〒1050002 東京都港区愛宕二丁目5番1号 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

[続葉有]

(54) Title: ABSORBENT ARTICLE

(54) 発明の名称: 吸収性物品



(57) Abstract: This absorbent article (1) is provided with a front waist-encircling region (S1), a back waist-encircling region (S2), and a crotch region (S3), and has side joined portions (29) at which the outside edges of the front waist-encircling region and the outside edges of the back waist-encircling region are joined, and a pair of compressed portions (81) formed by compressing an absorbent body (13) in the thickness direction. The absorbent body has a pair of low-weight areas (16) lower in weight than the other regions of the absorbent body. The pair of compressed portions has a first compressed portion (811) extending in the front-back direction from the crotch region, and a second compressed portion (812) situated farther towards the back side from the first compressed portion. The pair of low-weight areas extends towards the inside in the width direction from the outer edges of the absorbent body, at the back side from the center of the absorbent article in the front-back direction. In an area lying between the pair of low-weight areas, an uncompressed portion (813) in which the absorbent body is not compressed is arranged between the first compressed portion and the second compressed portion in the front-back direction.

(57) 要約:

[続葉有]

WO 2016/104341 A1



添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

— 補正された請求の範囲 (条約第 19 条(1))

吸収性物品 (1) は、前胴周り域 (S 1) と、後胴周り域 (S 2) と、股下域 (S 3) と、を備え、前胴周り域の外側縁と後胴周り域の外側縁とが接合されたサイド接合部 (2 9) と、吸収体 (1 3) が厚み方向に圧搾された一対の圧搾部 (8 1) と、を有する。吸収体は、吸収体の他の部位よりも目付けが低い一対の低目付領域 (1 6) を有する。一対の圧搾部は、股下域から前後方向に延びる第 1 圧搾部 (8 1 1) と、第 1 圧搾部よりも後側に位置する第 2 圧搾部 (8 1 2) と、を有する。一対の低目付領域は、吸収性物品の前後方向の中心よりも後側において、吸収体の外側縁から幅方向の内側に向かって延びる。一対の低目付領域に挟まれた領域には、前後方向における第 1 圧搾部と第 2 圧搾部の間に設けられ、かつ吸収体が圧搾されていない非圧搾部 (8 1 3) が配置される。

明 細 書

発明の名称：吸収性物品

技術分野

[0001] 本発明は、吸収性物品に関する。

背景技術

[0002] 従来、フィット性を高めて、体液の漏れを抑制する吸収性物品が提供されている（特許文献１～３）。

[0003] 特許文献１の吸収性物品は、吸収体の両外側縁に複数の分断部が形成されている。

[0004] 特許文献２の吸収性物品は、上層吸収体と下層吸収体とを有する。下層吸収体には、前後方向に延びる一对の圧搾部が形成され、上層吸収体には、幅方向に延びる複数の横溝が一对の圧搾部の間に配置されている。

[0005] 特許文献１の吸収性物品の吸収体は、分断部によって前後方向において分断されているため、変形し易い。また、特許文献２の吸収性物品は、横溝が前後方向に所定ピッチで設けられているため、横溝を屈曲点として吸収体に変形し易い。よって、いずれの吸収性物品によっても、着用者の身体の動きに追従して吸収性物品が変形するので、フィット性を高めることができる。

[0006] 特許文献３の吸収性物品は、ショーツ型ナプキンであり、吸収体及び吸収体の肌対向面側に配置された内層シートが一体化した溝を有する。特許文献１において、溝は、着用者の腹側に位置する前胴周り域と着用者の背側に位置する後胴周り域とのそれぞれに形成されている。後胴周り域の溝部の後端縁は、前胴周り域の両外側縁と後胴周り域の両外側縁とを接合したサイド接合部よりも後側に位置する。

先行技術文献

特許文献

[0007] 特許文献１：特開２００９－１５３７３４号公報

特許文献２：特開２００７－０１４６３５号公報

特許文献3：特開平 1 1 — 0 7 0 1 4 4 号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

- [0008] しかし、上述の吸収性物品には、以下の問題点があった。
- [0009] 特許文献 1 の吸収性物品の分断部は、股下域に形成されている。よって、股下域においては、着用者の身体の動きに追従して吸収性物品が変形するが、股下域よりも後方、すなわち着用者の臀部に当たる領域においては、着用者の身体の動きに追従して吸収性物品が変形しない。
- [0010] 特許文献 2 の吸収性物品は、股下域において着用者の脚によって挟まれると、一对の圧搾部間の吸収体が圧縮される。よって、一对の圧搾部の間の剛性が高くなる。当該一对の圧搾部間に横溝が形成されているため、横溝を屈曲点として吸収体の変形し難くなることがある。
- [0011] 一般的に、着用者の身体のラインは、腹側よりも臀部側が膨らんでいる。よって、漏れを防止するためには、臀部の膨らみによって吸収体が配置されていることが好ましい。しかし、上述の吸収性物品は、臀部の膨らみに沿って吸収体を配置できず、漏れが生じるおそれがあった。
- [0012] 特許文献 3 の吸収性物品の溝部は、吸収体と内層シートとが一体化されており、周囲と比較して剛性が高い。よって、特許文献 3 において、吸収性物品であるショーツ型ナプキンは、溝部を基点に変形し易い。特許文献 1 のショーツ型ナプキンは、装着時に着用者の脚によって挟まれ、股下域が着用者側に隆起し、かつ溝部を基点に変形する。ショーツ型ナプキンの後胴周り域は、溝部の後端縁を基点に変形し、溝部の後端縁が着用者から離れるように凸状に変形する。ここで、後胴周り域の凸状の変形部分が着用者の身体に沿って配置されず、フィット性が低下することがあった。
- [0013] 本発明は、上述の課題に鑑みてなされたものであり、臀部の膨らみに沿って吸収体を配置し、体液の漏れを抑制できる吸収性物品を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0014] 本発明は、一形態において、吸収性物品として具現される。本発明の一形態に係る吸収性物品（ショーツ型ナプキン１）は、前胴周り域（前胴周り域Ｓ１）、後胴周り域（後胴周り域Ｓ２）、及び股下域（股下域Ｓ３）を備え、前記前胴周り域の外側縁と前記後胴周り域の外側縁とが接合されたサイド接合部（サイド接合部２９）と、吸収体（吸収体１３）が厚み方向に圧搾された一对の圧搾部（股下圧搾部８１）と、を有し、前記吸収体は、前記吸収体の他の部位よりも目付けが低い一对の低目付領域（低目付領域１６）を有する、吸収性物品であって、前記一对の圧搾部は、前記股下域から前後方向に延びる第１圧搾部（第１圧搾部８１１）と、前記第１圧搾部よりも後側に位置する第２圧搾部（第２圧搾部８１２）と、を有し、前記一对の低目付領域は、前記吸収性物品の前後方向の中心よりも後側において、前記吸収体の外側縁から幅方向の内側に向かって延びており、前記一对の低目付領域に挟まれた領域には、前記前後方向における前記第１圧搾部と前記第２圧搾部の間に設けられ、かつ前記吸収体が圧搾されていない非圧搾部（非圧搾部８１３）が配置されることを要旨とする。

[0015] 本発明の他の形態に係る吸収性物品（ショーツ型ナプキン１）は、着用者の身体前側に配置される前胴周り域（前胴周り域Ｓ１）と、着用者の身体後側に配置される後胴周り域（後胴周り域Ｓ２）と、前記前胴周り域と前記後胴周り域との間に位置し、着用者の股下に配置される股下域（股下域Ｓ３）と、を備え、前記前胴周り域の外側縁と前記後胴周り域の外側縁とが接合されたサイド接合部（サイド接合部２９）と、吸収体が厚み方向に圧搾され、前記股下域から前記前後方向に延びる一对の股下圧搾部（股下圧搾部８１）と、を有するショーツ型ナプキンであって、前記一对の股下圧搾部の間隔は、前記股下圧搾部の後端縁（股下圧搾部の後端縁８１Ｒ）に向かうにつれて短くなっており、前記股下圧搾部の後端縁は、前記後胴周り域の前記サイド接合部の前端縁（後サイド接合部２９２の前端縁２９２Ｆ）よりも前側に位置し、前記股下圧搾部の前端縁（股下圧搾部の前端縁８１Ｆ）は、前記前胴周り域の前記サイド接合部の後端縁（前サイド接合部２９１の後端縁２９１

R) よりも前側に位置することを要旨とする。

図面の簡単な説明

[0016] [図1]本発明の一実施形態に係るショーツ型ナプキンの正面図である。

[図2]図1に示すショーツ型ナプキンの展開平面図である。

[図3]図2に示すA-A断面の模式断面図である。

[図4]図2に示すB-B断面の模式断面図である。

[図5]吸収性本体の平面図である。

[図6]ショーツ型ナプキンの装着状態を模式的に示した図である。

[図7]ショーツ型ナプキンの装着状態を模式的に示した図であり、(a)は、比較例に係るショーツ型ナプキンの装着状態を示しており、(b)は、本発明の一実施形態に係るショーツ型ナプキンの装着状態を示す。

発明を実施するための形態

[0017] (1) 吸収性物品の全体構成

図1から図5を参照して、本発明の実施の形態に係る吸収性物品の全体構成について説明する。実施の形態に係る吸収性物品は、予めパンツ型に形成されたショーツ型ナプキン1である。なお、吸収性物品は、ショーツ型ナプキンに限られず、使い捨ておむつであってもよい。また、ショーツ型ナプキン1は、夜用のショーツ型ナプキンであってもよいし、昼用のショーツ型ナプキンであってもよい。

[0018] 図1は、本発明の一実施形態に係るショーツ型ナプキン1の正面図である。図2は、図1に示すショーツ型ナプキン1を展開した状態を示す展開平面図である。図2に示す展開平面図は、ショーツ型ナプキン1を構成する本体トップシート11や本体バックシート14等の皺が形成されない状態まで、伸縮性部材を伸長させた伸長状態の図である。図3は、図2に示すA-A断面図である。図4は、図2に示すB-B断面図である。図5は、吸収性本体10の平面図である。

[0019] ショーツ型ナプキン1は、着用者の身体前側に配置される前胴周り域S1と、着用者の身体後側に配置される後胴周り域S2と、着用者の股下に対応

し、前胴周り域 S 1 と後胴周り域 S 2 との間に位置する股下域 S 3 と、を有する。

[0020] ショーツ型ナプキン 1 は、着用者の身体前側と身体後側とに延びる前後方向 L と、前後方向に直交する幅方向 W と、着用者に向かう内方向 T 1 及び内方向と反対側に向かう外方向 T 2 に延びる厚み方向 T と、を有する。

[0021] ショーツ型ナプキン 1 は、吸収性本体 1 0 と、シャーシ 2 0 と、を備える。吸収性本体 1 0 は、液透過性の本体トップシート 1 1 と、液不透過性の本体フィルム 1 2 と、本体トップシート 1 1 と本体フィルム 1 2 との間に配置される吸収体 1 3 と、本体バックシート 1 4 と、を備える。シャーシ 2 0 は、吸収性本体 1 0 よりも外方向 T 2 に配置されており、外装トップシート 2 1 と外装バックシート 2 2 を有する。

[0022] 図 2 に示す状態から、ショーツ型ナプキン 1 の前後方向 L における中心 L C を起点に前胴周り域 S 1 と後胴周り域 S 2 とが重なるように折り畳み、前胴周り域 S 1 の外側縁（幅方向の外側端）と後胴周り域 S 2 の外側縁とを接合することにより、図 1 に示すショーツ型ナプキンが形成される。前胴周り域 S 1 の外側縁（幅方向の外側端）と後胴周り域 S 2 の外側縁とが接合されるサイド接合部 2 9 を、図 1 及び図 2 に示す。サイド接合部 2 9 から幅方向に延びる領域は、前胴周り域 S 1 及び後胴周り域 S 2 である。サイド接合部 2 9 よりも前後方向の内側の領域は、股下域 S 3 である。前胴周り域 S 1 のサイド接合部 2 9 を前サイド接合部 2 9 1 とし、後胴周り域 S 2 のサイド接合部 2 9 を後サイド接合部 2 9 2 とする。

[0023] 本体トップシート 1 1 は、吸収体 1 3 よりも内方向 T 1 側に位置する。本体トップシート 1 1 には、不織布や開孔プラスチックフィルムなどの液透過性のシートなどが使用される。

[0024] 本体フィルム 1 2 は、吸収体 1 3 よりも外方向 T 2 側であって、シャーシ 2 0 よりも内方向 T 1 側に配置される。本体フィルム 1 2 には、液不透過性のシートなどが使用される。

[0025] 吸収体 1 3 は、本体トップシート 1 1 及び本体フィルム 1 2 の間に設けら

れ、着用者からの排泄物を吸収する。吸収体 13 には、粉碎パルプと高吸収性ポリマー粒子との混合物などが使用される。パルプの平均目付は、 $100 \sim 800 \text{ g/m}^2$ であり、高吸収性ポリマー粒子の平均目付は、 $0 \sim 100 \text{ g/m}^2$ である。また、吸収体 13 は、シート状になったエアレイドシートでもよい。

[0026] 本実施形態において、吸収体の目付は、一定ではない。吸収体 13 は、吸収体の他の部位よりも目付けが低い低目付領域 16 を有する（図 5 参照）。低目付領域 16 は、吸収体の他の部位よりも吸収材料の目付けが低く構成されていればよく、吸収材料が配置されてない（目付が 0 である）スリットであってもよい。低目付領域 16 は、ショーツ型ナプキンの前後方向の中心 1LC よりも後側において、吸収体 13 の外側縁から幅方向の内側に延びる。

[0027] 吸収体 13 は、後述する一对の股下圧搾部 81 に挟まれた領域に、周囲よりも目付が高い高目付領域 17 が設けられている。また、吸収体 13 は、高目付領域 17 よりも目付が低く、かつ低目付領域 16 よりも目付が高い中目付領域 18 を有する。中目付領域の目付は、吸収体の他の部位（低目付領域、中目付領域及び高目付領域を除いた領域）の目付よりも低い。中目付領域 18 は、高目付領域の前側と、一对の股下圧搾部 81 の後側と、のそれぞれに設けられている。本実施の形態の高目付領域の目付は、 600 g/m^2 であり、低目付領域の目付は、 0 g/m^2 であり、中目付領域の目付は、 150 g/m^2 であり、吸収体の他の部位（低目付領域、中目付領域及び高目付領域を除いた領域）の目付は、 300 g/m^2 である。高目付領域 17 の前端縁は、前側に位置する中目付領域 18 の後端縁と一致し、かつ後述する前側外装トップシート 24 の後端縁に一致する。高目付領域 17 の後端縁は、ショーツ型ナプキン 1 の前後方向 L における中心 1LC よりも前側に位置する。なお、吸収体の目付は、一定であってもよい。

[0028] 本体バックシート 14 は、本体フィルム 12 の外方向 T2 側と、本体トップシート 11 の内方向 T1 側と、の両方に配置される。本体バックシート 14 の幅方向 W の中央部は、本体フィルム 12 の外方向 T2 側に配置される。

本体バックシート 14 の中央部よりも幅方向の外側は、本体フィルム 12 の外側縁を起点に幅方向の内側に折り返され、本体トップシート 11 の内方向 T 1 側に配置される。本体バックシート 14 には、不織布等のシートなどが使用される。

[0029] ショーツ型ナプキン 1 には、着用者の腰周りが挿入される腰周り開口部 31 と、着用者の脚がそれぞれ挿入される一対の脚周り開口部 32 と、が形成される。腰周り開口部 31 は、シャーシ 20 の前端縁 20F 及びシャーシ 20 の後端縁 20R によって囲まれて形成されている。脚周り開口部 32 の最も幅方向の内側に位置する部分は、ショーツ型ナプキン 1 の前後方向の中心 1LC よりも前側に位置する。

[0030] シャーシ 20 は、外装トップシート 21 と、外装バックシート 22 と、を有する。シャーシ 20 を構成する外装トップシート 21 の幅方向の長さ及び、外装バックシート 22 との幅方向の長さは、吸収性本体 10 の幅方向の長さよりも長い。

[0031] 外装トップシート 21 は、少なくとも幅方向に伸縮する伸縮性を有する不織布からなる。外装バックシート 22 は、外装トップシート 21 の外方向 T 2 側に配置される。外装バックシート 22 は、非伸縮性の不織布からなる。外装トップシート 21 が配置された領域は、後述する伸縮領域を構成する。なお、外装トップシート 21 が非伸縮性の不織布からなり、かつ外装バックシート 22 が幅方向に伸縮する伸縮性を有する不織布からなる構成であってもよいし、外装トップシート 21 と外装バックシート 22 の両方が幅方向に伸縮する伸縮性を有する不織布からなる構成であってもよい。

[0032] 外装トップシート 21 は、前胴周り域 S1 側に位置する前側外装トップシート 24 と、後胴周り域 S2 側に位置する後側外装トップシート 25 と、を有する。前側外装トップシート 24 と後側外装トップシート 25 は、前後方向 L に離間している。外装バックシート 22 は、前胴周り域 S1、股下域 S3、及び後胴周り域 S2 に亘って設けられている。後側外装トップシート 25 が配置された領域は、幅方向に伸縮性を有する伸縮領域となる。後側外装

トップシート２５は、少なくとも後胴周り域Ｓ２の一部に配置されていればよい。本実施形態において、後側外装トップシート２５は、股下域Ｓ３と後胴周り域Ｓ２に亘って設けられている。

[0033] 前側外装トップシート２４及び外装バックシート２２は、シャーシ２０の前端縁２０Ｆにおいて後側に折り返されている。前側外装トップシート２４及び外装バックシート２２が折り返された部分には、腰周り伸縮性部材２６が配置されている。

[0034] 後側外装トップシート２５及び外装バックシート２２は、シャーシ２０の後端縁２０Ｒにおいて前側に折り返されている。後側外装トップシート２５及び外装バックシート２２が折り返された部分には、腰周り伸縮性部材２６が配置されている。後側外装トップシート２５と外装バックシート２２との間には、脚周り伸縮性部材２７が配置されている。

[0035] 吸収性本体１０は、本体トップシート１１及び吸収体１３が厚み方向に圧搾された圧搾部８０を有する。圧搾部８０が形成されているため、本体トップシート１１に排出された体液を、本体トップシート１１を介して吸収体１３に迅速に引き込むことができる。なお、圧搾部８０は、少なくとも吸収体１３が厚み方向に圧搾されていればよい。

[0036] 圧搾部８０は、股下域Ｓ３から前後方向Ｌに延びる股下圧搾部８１と、股下圧搾部８１よりも後側に位置し、かつ股下圧搾部８１と離間して配置された後側圧搾部８２と、前後方向Ｌに延びる一对の前側サイド圧搾部８４と、前後方向Ｌに延びる一对の後側サイド圧搾部８５と、を有する。

[0037] 一对の股下圧搾部８１の間隔は、股下圧搾部８１の後端縁８１Ｒに向かうにつれて短く、かつ圧搾部８０の前端縁８１Ｆに向かうにつれて短くなっている。また、一对の股下圧搾部８１は、股下圧搾部８１の前端縁８１Ｆにおいて連なり、かつ股下圧搾部８１の後端縁８１Ｒにおいて連なっている。よって、本実施形態では、一对の股下圧搾部８１は、一体化しており、平面視にて環状である。なお、一对の股下圧搾部８１は、離間して配置されていてもよいし、平面視にて環状でなくてもよい。また、一对の股下圧搾部８１に

よって囲まれた領域には、幅方向に延びる圧搾部が形成されていない。

[0038] 股下圧搾部 8 1 は、股下域 S 3 から前後方向 L に延びる第 1 圧搾部 8 1 1 と、第 1 圧搾部 8 1 1 よりも後側に位置する第 2 圧搾部 8 1 2 と、を有する。第 1 圧搾部 8 1 1 と、第 2 圧搾部 8 1 2 と、は、前後方向 L において離間している。前後方向 L における第 1 圧搾部 8 1 1 と第 2 圧搾部 8 1 2 の間には、本体トップシート 1 1 及び吸収体 1 3 が厚み方向に圧搾されていない非圧搾部 8 1 3 が設けられている。非圧搾部 8 1 3 は、少なくとも吸収体 1 3 が圧搾されていなければよい。非圧搾部 8 1 3 は、幅方向において一对の低目付領域 1 6 に挟まれた領域に配置されている。

[0039] 第 1 圧搾部 8 1 1 は、一部が不連続であってもよいし、連続していてもよい。本実施形態において、第 1 圧搾部 8 1 1 は、第 1 圧搾部 8 1 1 が不連続であり、当該不連続の部分には、非圧搾部 8 1 3 が設けられている。非圧搾部 8 1 3 は、第 1 圧搾部 8 1 1 において複数箇所に設けられていてもよいし、第 1 圧搾部 8 1 1 において 1 箇所設けられていてもよいし、第 1 圧搾部 8 1 1 において設けられていなくてもよい。第 1 圧搾部 8 1 1 において非圧搾部 8 1 3 が設けられていない構成においては、非圧搾部 8 1 3 は、第 1 圧搾部 8 1 1 と第 2 圧搾部 8 1 2 の間に 1 箇所設けられる。一对の低目付領域 1 6 に挟まれた領域に、少なくとも一の非圧搾部 8 1 3 が配置されていればよい。非圧搾部 8 1 3 が設けられる第 1 圧搾部 8 1 1 と第 2 圧搾部 8 1 2 の間隔は、少なくとも 4 mm 以上であることが好ましい。また、一对の股下圧搾部 8 1 の一方の股下圧搾部 8 1 の非圧搾部 8 1 3 と、一对の股下圧搾部 8 1 の他方の股下圧搾部 8 1 の非圧搾部 8 1 3 と、は、幅方向 W に沿った同一直線上に位置することが好ましい。後述する吸収体の湾曲基点を幅方向に沿って形成し易くなる。

[0040] 股下圧搾部 8 1 は、前胴周り域 S 1 と股下域 S 3 に跨がって配置されている。股下圧搾部 8 1 は、後胴周り域 S 2 には配置されていない。よって、股下圧搾部 8 1 の後端縁 8 1 R は、後サイド接合部 2 9 2 の前端縁 2 9 2 F よりも前側に位置する。股下圧搾部 8 1 の前端縁 8 1 F は、前サイド接合部 2

91の後端縁291Rよりも前側に位置する。

[0041] 股下圧搾部81の前端縁81Fは、ショーツ型ナプキン1の前後方向Lにおける中心1LCよりも、前側に100mm以上180mm以下の範囲に配置される。股下圧搾部81の前端縁81Fと中心1LCとの距離が100mm未満であると、股下圧搾部81の前端縁81Fと中心1LCとの距離が短く、中心1LCよりも前側がよれやすくなる。一方、股下圧搾部81の前端縁81Fと中心1LCとの距離が180mmを超えると、吸収体の前後方向の長さが長くなり、装着時の違和感が生じ易い。また、股下圧搾部81の後端縁81Rは、ショーツ型ナプキン1の前後方向Lにおける中心1LCよりも、後側に50mm以上150mm以下の範囲に配置される。股下圧搾部81の後端縁81Rと中心1LCとの距離が50mm未満であると、中心1LCよりも後側に位置する臀部までの領域がよれやすくなる。一方、股下圧搾部81の後端縁81Rと中心1LCとの距離が150mmを超えると、臀部から吸収体が離れやすくなる。

[0042] 股下圧搾部81の後端縁81Rの幅方向の外側には、低目付領域16が形成されている。本実施の形態では、股下圧搾部81の後端縁81Rの幅方向の両外側に、それぞれ低目付領域16が形成されている。低目付領域は、後サイド接合部292よりも前側に位置する。低目付領域16は、幅方向の内側に向かって延びており、当該低目付領域16が延びる方向は、幅方向Wに対して傾斜している。より詳細には、低目付領域16は、幅方向Wの内側に向かうにつれて後方に延びる。低目付領域16は、伸縮領域に重なっている。

[0043] 後側圧搾部82は、吸収体13の幅方向の略全域に配置された点状の圧搾部である。各後側圧搾部82は、間隔を空けて配置されている。点状の後側圧搾部82が形成された吸収体13の後部は、幅方向全域に亘って厚み方向Tに押圧され、吸収体13の後部の厚みは、比較的薄くなっている。

[0044] 股下圧搾部81の幅方向の外側には、一对の前側サイド圧搾部84と、一对の後側サイド圧搾部85と、が形成されている。前側サイド圧搾部84は

、股下圧搾部 8 1 と離間している。後側サイド圧搾部 8 5 は、股下圧搾部 8 1 と離間し、かつ後側圧搾部 8 2 と離間している。

[0045] 吸収性本体 1 0 は、起立性のレッグサイド伸縮部 6 0 を有する。レッグサイド伸縮部 6 0 は、一対の脚周り開口部 3 2 よりも幅方向の内側に位置し、吸収性本体 1 0 の外側縁に設けられている。レッグサイド伸縮部 6 0 は、吸収体 1 3 よりも内方向 T 1 側に配置される起立性のギャザーである。レッグサイド伸縮部 6 0 は、本体バックシート 1 4 と、本体バックシート 1 4 間に配置された防漏伸縮性部材 1 5 と、によって構成されている。

[0046] レッグサイド伸縮部 6 0 は、レッグサイド伸縮部 6 0 よりも外方向 T 2 側に位置する本体トップシート 1 1 等の裏面側部材に接合される接合部分 6 1 と、裏面側部材に接合されず、防漏伸縮性部材 1 5 によって前後方向に伸縮可能な収縮部 6 2 と、を有する。図 2 及び図 5 において、接合部分 6 1 に斜線を付して示す。接合部分 6 1 は、収縮部 6 2 よりも幅方向の外側に位置する第 1 接合部分 6 1 A と、収縮部 6 2 よりも前後方向の両外側に位置する第 2 接合部分 6 1 B と、を有する。

[0047] 裏面側部材は、レッグサイド伸縮部 6 0 よりも外方向 T 2 側に位置する部材であればよく、例えば、本体トップシート 1 1、本体フィルム 1 2、及び本体バックシート 1 4 を例示できる。レッグサイド伸縮部 6 0 は、着用時には接合部分 6 1 を基端部として立ち上がり、収縮部 6 2 が頂点部として着用者の肌と接触する。すなわち、接合部分 6 1 は、レッグサイド伸縮部 6 0 の立ち上がりの基端部となる。また、収縮部 6 2 よりも後側に位置する第 2 接合部分 6 1 B は、後サイド接合部 2 9 2 の前端縁 2 9 2 F よりも前側に位置し、厚み方向において低目付領域 1 6 に重なる。なお、本実施の形態において 2 つの部材が重なる状態とは、2 つの部材が当接して重なった状態のみならず、2 つの部材の間に他の部材が配置され、2 つの部材が間接的に重なった状態を含むものである。

[0048] なお、収縮部 6 2 は、前側の第 2 接合部分 6 1 B と後側の第 2 接合部分 6 1 B の間に位置する。収縮部 6 2 は、防漏伸縮性部材 1 5 によって実質的に

前後方向に収縮した部分であり、収縮力が発揮されない状態で防漏伸縮性部材 15 が配置された部分を除く概念である。

[0049] 本実施の形態において、吸収体の目付は、以下の方法で測定できる。目付を測定する部分を吸収性物品から切り出し、本体トップシート及び本体フィルム等、吸収体以外の部分を取り除き、吸収体の重量を測定する。吸収体の重量と目付を測定する部分の面積とに基づいて目付を算出する。

[0050] (2) ショーツ型ナプキンの装着状態

次いで、このように構成されたショーツ型ナプキン 1 の装着状態を説明する。図 7 (a) は、比較例に係るショーツ型ナプキン 100 の装着状態を示す。図 7 (b) は、本実施形態に係るショーツ型ナプキン 1 の装着状態を示す。図 7 (a) 及び図 7 (b) は、図 1 の B-B 断面を基準とした断面図である。比較例に係るショーツ型ナプキン 100 は、本実施形態に係るショーツ型ナプキン 1 と、股下圧搾部 81 の前後方向の位置が異なる。比較例に係るショーツ型ナプキン 100 の説明において、実施の形態のショーツ型ナプキン 1 と同様の部材については、同符号を用いて説明を省略する。

[0051] 比較例の股下圧搾部 81 の前端縁 81 F は、前サイド接合部 291 の後端縁 291 R よりも後側に位置する。一方、本実施形態において、股下圧搾部 81 の前端縁 81 F は、前サイド接合部 291 の後端縁 291 R よりも前側に位置する。また、比較例の股下圧搾部 81 の後端縁 81 R は、後サイド接合部 292 の前端縁 292 F よりも後側に位置する。一方、本実施形態では、股下圧搾部 81 の後端縁 81 R は、後サイド接合部 292 の前端縁 292 F よりも前側に位置する。

[0052] 装着された状態で着用者の両脚によってショーツ型ナプキンが挟まれると、ショーツ型ナプキンには、幅方向の内側に向かう力が掛かる。一对の股下圧搾部によって挟まれた領域は、着用者側に隆起する。よって、着用者の股下域に吸収体がフィットする。

[0053] また、一对の股下圧搾部 81 によって挟まれて隆起した部分は、股下圧搾部 81 に沿って前後方向に伝わる。ショーツ型ナプキン 1 は、股下圧搾部 8

１の後端縁８１Ｒを基点に変形し、股下圧搾部８１の後端縁８１Ｒが着用者から離れるように凸状に変形する。比較例に係るショーツ型ナプキン１００の股下圧搾部８１の後端縁８１Ｒは、後サイド接合部２９２の前端縁２９２Ｆよりも後側に位置する。しかし、着用者の臀部の最も膨らむ部分（図５に示すＰ１）は、後サイド接合部２９２の前端縁２９２Ｆよりも前側に位置する。よって、比較例に係るショーツ型ナプキン１００は、股下圧搾部８１の後端縁８１Ｒによる変形部分が臀部の最も膨らむ部分Ｐ１に沿って配置されない。一方、本実施形態では、股下圧搾部８１の後端縁８１Ｒは、後サイド接合部２９２の前端縁２９２Ｆよりも前側に位置する。よって、股下圧搾部８１の後端縁８１Ｒによる変形部分が臀部の最も膨らむ部分Ｐ１に沿って配置される。

[0054] （３）作用・効果

装着された状態で着用者の両脚によってショーツ型ナプキンが挟まれると、ショーツ型ナプキン１には、幅方向Ｗの内側に向かう力が掛かる。一对の股下圧搾部８１によって挟まれた領域は、着用者側に隆起する。よって、着用者の股下域Ｓ３に吸収体１３がフィットする。

[0055] 図６は、ショーツ型ナプキンの装着状態を模式的に示した図である。図６は、後方から視認した装着状態の吸収体の変形を示している。股下圧搾部８１の第１圧搾部８１１が股下域Ｓ３から前後方向Ｌに延びているため、当該隆起した部分も前後方向Ｌに連続する。このように構成されたショーツ型ナプキン１が引き上げられると、非圧搾部８１３よりも後側および低目付領域１６よりも後側に引き上げる力がかかる。よって、低目付領域１６よりも後側の領域は、引き上げられる。また、吸収体１３は、低目付領域１６を基点として湾曲する。更に、一对の低目付領域１６の間に非圧搾部８１３が形成されているため、吸収体は、非圧搾部８１３を基点としても湾曲する。そのため、隆起した部分は、非圧搾部８１３よりも後方及び低目付領域１６よりも後方に伝播し難くなる。

[0056] 例えば、股下圧搾部８１が前後方向Ｌに連続し、かつ低目付領域１６が設

けられていない構成にあっては、吸収体 1 3 の隆起した部分も前後方向 L に連続する。当該隆起した部分の後端縁は、股下圧搾部 8 1 の後端縁 8 1 R となる。吸収体 1 3 に湾曲基点が形成されずに、吸収体 1 3 が臀部から離間し、漏れが発生することがある。また、股下圧搾部 8 1 が前後方向 L に連続し、かつ低目付領域が設けられていない構成にあっては、後胴周り域 S 2 のシャーシが身体に密着しても、吸収体 1 3 と臀部に空間が形成され、斜め後漏れが発生してしまう。

[0057] しかし、非圧搾部 8 1 3 及び低目付領域 1 6 が幅方向に延びる一定領域内に配置されているため、非圧搾部 8 1 3 及び低目付領域 1 6 による吸収体 1 3 の湾曲基点を設けることができる。また、非圧搾部 8 1 3 の幅方向 W の外側に位置する低目付領域 1 6 が吸収体 1 3 の両外側縁において吸収体 1 3 の変形を吸収し、吸収体 1 3 が湾曲し易くなる。よって、臀部の膨らみに沿って吸収体 1 3 を配置でき、身体とショーツ型ナプキン 1 との隙間を少なくし、後漏れを低減できる。

[0058] また、非圧搾部 8 1 3 よりも後側及び低目付領域 1 6 よりも後側には、隆起した部分が伝し難く、非圧搾部 8 1 3 よりも後側には、第 2 圧搾部 8 1 2 が設けられ、厚みが薄く形成されている。よって、吸収体 1 3 の後側は、第 2 圧搾部 8 1 2 によってフラットに配置され易く、後漏れを抑制できる。

[0059] サイド接合部 2 9 から幅方向 W に延びる領域は、着用者の腰周りにフィットする。例えば、低目付領域 1 6 がサイド接合部 2 9 から幅方向に延びる領域内に配置されていると、低目付領域 1 6 を介して湾曲状に変形し難くなる。しかし、低目付領域 1 6 が後サイド接合部 2 9 2 よりも前側に配置されているため、吸収体 1 3 が湾曲した状態を実現できる。ショーツ型ナプキン 1 のフィット性を高め、体液の漏れを抑制できる。

[0060] 低目付領域 1 6 は、幅方向 W の内側に向かうにつれて後方に延びる。当該低目付領域 1 6 が伸縮領域よりも前側に位置するため、伸縮領域によって後胴周り域 S 2 が収縮した際に、低目付領域 1 6 の後側が低目付領域 1 6 の前側よりも収縮する。そのため、収縮した自然状態において、低目付領域 1 6

は、幅方向Wに沿って配置される。よって、低目付領域16による湾曲状の変形基点が幅方向に沿って形成される。ショーツ型ナプキン1のフィット性を高め、体液の漏れを抑制できる。

[0061] また、伸縮領域と重なる吸収体13は、幅方向Wに縮む力を受ける。股下圧搾部81が設けられた領域の吸収体13は、股下圧搾部81よりも幅方向の外側において収縮する。また、股下圧搾部81よりも後側の領域の吸収体13は、吸収体13の全域において収縮する。よって、股下圧搾部81よりも後側の領域の吸収体の幅は、比較的狭くなる。すなわち、吸収体13は、後方に向かうに連れて幅が短くなっており、逆ハの字の外形となる。また、低目付領域16も、逆ハの字の形状となる。低目付領域16の形状と吸収体13の形状とが沿うため、吸収体13に皺が入りにくく、吸収体13がよれ難くなる。

[0062] レッグサイド伸縮部60の立ち上がりの基端部である第2接合部分61Bは、低目付領域16に重なる。例えば、第2接合部分61Bが低目付領域16よりも後側に配置されていると、レッグサイド伸縮部60の収縮部62の収縮によって低目付領域16が収縮し、吸収体13が湾曲状に変形できないことがある。また、第2接合部分61Bが低目付領域16よりも前側に配置されていると、レッグサイド伸縮部60によって収縮した部分と、低目付領域16による湾曲状の変形部分と、が連動せず、吸収性能が低下するおそれがある。

[0063] 立ち上がりの基端部である第2接合部分61Bが低目付領域16に重なることにより、レッグサイド伸縮部60による収縮が吸収体の湾曲状の変形に悪影響を及ぼすことなく、レッグサイド伸縮部60による収縮と低目付領域16による変形と、を実現できる。体液の横漏れと後漏れを抑制できる。

[0064] 更に、一对の股下圧搾部81によって挟まれて隆起した部分は、前後方向Lにおいて股下圧搾部81の前端縁81Fから股下圧搾部81の後端縁81Rまで連続する。ここで、股下圧搾部81の後端縁81Rは、後サイド接合部292の前端縁292Fよりも前側に位置する。よって、股下圧搾部81

の後端縁 81 R による変形部分が臀部の最も膨らむ部分 P 1 に沿って配置される。臀部の膨らみに沿って吸収体 13 が配置されるため、体液の後漏れを抑制できる。また、後サイド接合部 292 から幅方向に延びる領域の吸収体 13 は、股下圧搾部 81 を介して隆起せずに平面形状を維持し易く、着用者の腰周りにフィットし易い。その結果、着用者の腰周りに沿って吸収体 13 が配置され、体液の後漏れを抑制できる。

[0065] また、着用者は、ショーツ型ナプキン 1 を引き上げる際は、一般的に前胴周り域 S 1 を引き上げる。股下圧搾部 81 の前端縁 81 F は、前サイド接合部 291 の後端縁 291 R よりも前側、すなわち前胴周り域 S 1 に位置する。よって、着用者がショーツ型ナプキンを引き上げる力は、前胴周り域 S 1 を介して股下圧搾部 81 に伝わる。股下圧搾部 81 は、吸収体等が圧縮されており、比較的剛性が高い。そのため、ショーツ型ナプキンを引き上げる上向きの力は、股下圧搾部 81 を介して吸収体 13 全体に均等に掛かる。よって、吸収体 13 は、装着時によれ難くなり、面形状を維持した状態で恥骨付近にフィットし易くなる。

[0066] 一方、比較例に係るショーツ型ナプキン 100 の股下圧搾部 81 の前端縁 81 F は、前サイド接合部 291 の後端縁 291 R よりも後側に位置する。よって、着用者がショーツ型ナプキンを引き上げる力は、前胴周り域 S 1 を介して股下圧搾部 81 に伝わり難い。よって、吸収体 13 のよれを抑制しつつ引き上げることができず、恥骨付近のフィット性を確保しにくい。

[0067] 加えて、一对の股下圧搾部 81 間の隆起した部分の幅が臀部の最も膨らむ部分 P 1 において広すぎると、左右の臀部の隙間に吸収体 13 が配置され難く、フィット性が低下するおそれがある。しかし、一对の股下圧搾部 81 の間隔が股下圧搾部 81 の後端縁 81 R に向かうにつれて短いため、左右の臀部間の隙間に吸収体 13 の隆起部分を配置し易くなる。臀部に対するフィット性を向上させ、後漏れを抑制できる。

[0068] 一对の股下圧搾部 81 が股下圧搾部 81 の後端縁 81 R において連なっているため、股下圧搾部 81 の後端縁 81 R において一对の股下圧搾部間の隆

起部分の幅が広くなることを抑制でき、左右の臀部の隙間に吸収体をよりフィットさせることができる。よって、臀部に対するフィット性を更に向上させ、後漏れを低減できる。

[0069] 吸収体 13 は、股下圧搾部 81 の後側に位置する後側圧搾部 82 を有する。後側圧搾部 82 によって、股下圧搾部 81 の後側における吸収体 13 の厚みが薄くなる。よって、股下域 S3 から後方に隆起部分が伝わることを抑えることができ、一对の股下圧搾部 81 よりも後側の吸収体は、平面形状を維持し易くなる。着用者がショーツ型ナプキン 1 の後胴周り域 S2 を引き上げた際に、吸収体 13 の幅方向全域に力が伝達し易くなる。また、一对の股下圧搾部 81 よりも後側において吸収体の全幅で臀部に接し易くなり、後漏れを抑制できる。

[0070] 後側圧搾部 82 が設けられていることにより、後側圧搾部 82 が設けられた領域の剛性が高くなり、吸収体 13 が変形し難くなる。吸収体 13 が平面形状を維持し易くなり、臀部に対するすれを抑制でき、また当該すれによる吸収体の型崩れを抑制できる。

[0071] また、例えば、後側圧搾部 82 が点状でなく、面状の場合には、吸収体の後部全体の通気性が低くなり、蒸れが生じるおそれがある。しかし、後側圧搾部 82 が点状であるため、吸収体 13 の後部の通気性を確保し、臀部に対する蒸れを抑制できる。

[0072] 吸収体 13 は、周囲よりも目付が低い低目付領域 16 を基点に変形し易く、また股下圧搾部 81 の後端縁 81R を基点に変形し易い。股下圧搾部 81 の幅方向の外側に低目付領域 16 が形成されているため、股下圧搾部 81 の後端縁 81R、及び股下圧搾部 81 の後端縁 81R から幅方向の外側に延びる領域に、変形基点を形成し易くなる。吸収体 13 の全幅において変形し易くなり、吸収体 13 の全幅が臀部の膨らみに沿って配置される。よって、フィット性を向上させ、後漏れを低減できる。

[0073] サイド接合部 29 から幅方向に延びる領域は、寝姿勢の場合に体圧がかかる。例えば、サイド接合部 29 から幅方向に延びる領域にレッグサイド伸縮

部 60 の立ち上がりの基端部が配置されていると、レッグサイド伸縮部 60 が立ち上がり難くなることがある。しかし、レッグサイド伸縮部 60 の立ち上がりの基端部である第 2 接合部分 61 B が、後サイド接合部 292 の前端縁 292 F よりも前側に位置するため、レッグサイド伸縮部 60 の立ち上がりを阻害せず、レッグサイド伸縮部 60 によって横漏れを低減できる。

[0074] 上述したように、本発明の実施形態を通じて本発明の内容を開示したが、この開示の一部をなす論述及び図面は、本発明を限定するものであると理解すべきではない。この開示から当業者には様々な代替実施の形態、実施例及び運用技術が明らかとなる。

[0075] 変形例に係る吸収性物品は、低目付領域 16 が、前後方向 L に離間して複数設けられていてもよい。具体的には、上述の実施形態の一对の低目付領域 16 のそれぞれの前側又は後側に、吸収体 13 の外側縁から幅方向の内側に向かう他の低目付領域 16 が設けられていてもよい。一の低目付領域と他の目付領域は、平面視にて同じ形状であってもよいし、異なる形状（例えば、幅方向の長さが異なる形状）であってもよい。

[0076] 複数の低目付領域 16 を設けることにより、吸収体 13 の変形基点が複数形成され、吸収体 13 が低目付領域 16 を基点としてより湾曲し易くなる。よって、着用者の臀部の膨らみに沿って吸収体 13 を配置でき、後漏れをより抑制できる。また、複数の低目付領域 16 を設けることにより、臀部の位置や大きさに個人差がある場合にも、着用者に適した位置で吸収体が湾曲可能となる。

[0077] 本願の優先権主張の基礎とした平成 26 年 12 月 26 日付けの日本国特許出願第 2014-266383 号及び第 2014-266413 号は、その全体の内容が参照により本願に組み込まれる。

産業上の利用可能性

[0078] 本発明によれば、臀部の膨らみに沿って吸収体を配置し、体液の漏れを抑制できる吸収性物品を提供することができる。

符号の説明

- [0079] 1 : ショーツ型ナプキン
- 1 L C : ナプキンの前後方向の中心
- 1 0 : 吸収性本体
- 1 1 : 本体トップシート
- 1 2 : 本体フィルム
- 1 3 : 吸収体
- 1 4 : 本体バックシート
- 1 5 : 防漏伸縮性部材
- 1 6 : 低目付領域
- 1 7 : 高目付領域
- 1 8 : 中目付領域
- 2 0 : シャーシ
- 2 1 : 外装トップシート
- 2 2 : 外装バックシート
- 2 4 : 前側外装トップシート
- 2 5 : 後側外装トップシート
- 2 6 : 腰周り伸縮性部材
- 2 7 : 脚周り伸縮性部材
- 2 9 : サイド接合部
- 2 9 1 : 前サイド接合部
- 2 9 2 : 後サイド接合部
- 3 1 : 腰周り開口部
- 3 2 : 脚周り開口部
- 6 0 : レッグサイド伸縮部
- 6 1 A : 第1接合部分
- 6 1 B : 第2接合部分
- 6 2 : 収縮部
- 8 0 : 圧搾部

8 1	: 股下圧搾部
8 1 1	: 第 1 圧搾部
8 1 2	: 第 2 圧搾部
8 1 3	: 非圧搾部
8 2	: 後側圧搾部
8 4	: 前側サイド圧搾部
8 5	: 後側サイド圧搾部
S 1	: 前胴周り域
S 2	: 後胴周り域
S 3	: 股下域
L	: 前後方向
T	: 厚み方向
W	: 幅方向

請求の範囲

- [請求項1] 前胴周り域、後胴周り域、及び股下域を備え、
前記前胴周り域の外側縁と前記後胴周り域の外側縁とが接合された
サイド接合部と、
吸収体が厚み方向に圧搾された一対の圧搾部と、を有し、
前記吸収体は、前記吸収体の他の部位よりも目付けが低い一対の低
目付領域を有する、吸収性物品であって、
前記一対の圧搾部は、前記股下域から前後方向に延びる第1圧搾部
と、前記第1圧搾部よりも後側に位置する第2圧搾部と、を有し、
前記一対の低目付領域は、前記吸収性物品の前後方向の中心よりも
後側において、前記吸収体の外側縁から幅方向の内側に向かって延び
ており、
前記一対の低目付領域に挟まれた領域には、前記前後方向における
前記第1圧搾部と前記第2圧搾部の間に設けられ、かつ前記吸収体が
圧搾されていない非圧搾部が配置される、吸収性物品。
- [請求項2] 前記低目付領域は、前記サイド接合部よりも前側に位置する、請求
項1に記載の吸収性物品。
- [請求項3] 前記後胴周り域の少なくとも一部に配置され、かつ前記幅方向に伸
縮性を有する伸縮領域を有し、
前記低目付領域は、前記幅方向内側に向かうにつれて後方に延びる
、請求項1に記載の吸収性物品。
- [請求項4] 一対の脚周り開口部よりも幅方向内側に位置し、前記前後方向に沿
って伸縮可能な収縮部を有する起立性のレッグサイド伸縮部を備えて
おり、
前記レッグサイド伸縮部の立ち上がりの基端部は、前記低目付領域
に重なる、請求項1から請求項3のいずれかに記載の吸収性物品。
- [請求項5] 前記低目付領域は、前記前後方向に離間して複数設けられる、請求
項1から請求項4のいずれかに記載の吸収性物品。

- [請求項6] 着用者の身体前側に配置される前胴周り域と、着用者の身体後側に配置される後胴周り域と、前記前胴周り域と前記後胴周り域との間に位置し、着用者の股下に配置される股下域と、を備え、
- 前記前胴周り域の外側縁と前記後胴周り域の外側縁とが接合されたサイド接合部と、
- 吸収体が厚み方向に圧搾され、前記股下域から前後方向に延びる一対の股下圧搾部と、を有するショーツ型ナプキンであって、
- 前記一対の股下圧搾部の間隔は、前記股下圧搾部の後端縁に向かうにつれて短くなっており、
- 前記股下圧搾部の後端縁は、前記後胴周り域の前記サイド接合部の前端縁よりも前側に位置し、
- 前記股下圧搾部の前端縁は、前記前胴周り域の前記サイド接合部の後端縁よりも前側に位置する、ショーツ型ナプキン。
- [請求項7] 前記一対の股下圧搾部は、前記股下圧搾部の後端縁において連なっている、請求項6に記載のショーツ型ナプキン。
- [請求項8] 前記吸収体が厚み方向に圧搾され、前記股下圧搾部の後側において前記股下圧搾部と離間して配置された後側圧搾部を有する、請求項6又は請求項7に記載のショーツ型ナプキン。
- [請求項9] 前記吸収体は、前記吸収体の他の部位よりも目付けが低い低目付領域を有し、
- 前記低目付領域は、前記股下圧搾部の後端縁の前記幅方向外側に位置する、請求項6から請求項8のいずれかに記載のショーツ型ナプキン。
- [請求項10] 一対の脚周り開口部よりも幅方向の内側に位置し、前記前後方向に沿って伸縮可能な収縮部を有する起立性のレッグサイド伸縮部を備えており、
- 前記レッグサイド伸縮部の立ち上がりの基端部は、前記後胴周り域の前記サイド接合部の前端縁よりも前側に位置する、請求項6から請

求項 9 のいずれかに記載のショート型ナプキン。

補正された請求の範囲

[2016年4月4日 (04.04.2016) 国際事務局受理]

[請求項1] (補正後)

前胴周り域、後胴周り域、及び股下域を備え、

- 5 前記前胴周り域の外側縁と前記後胴周り域の外側縁とが接合されたサイド接合部と、

吸収体が厚み方向に圧搾された一对の圧搾部と、を有し、

前記吸収体は、前記吸収体の他の部位よりも目付けが低い一对の低目付領域を有する、吸収性物品であって、

- 10 前記一对の圧搾部は、前記股下域から前後方向に延びる第1圧搾部と、前記第1圧搾部よりも後側に位置する第2圧搾部と、を有し、

前記一对の低目付領域は、前記吸収性物品の前後方向の中心よりも後側において、前記吸収体の外側縁から幅方向の内側に向かって延びており、

- 15 前記一对の低目付領域に挟まれた領域には、前記前後方向における前記第1圧搾部と前記第2圧搾部の間に設けられ、かつ前記吸収体が圧搾されていない非圧搾部が配置され、

前記低目付領域は、前記サイド接合部よりも前側に位置する、吸収性物品。

[請求項2] (削除)

[請求項3]

- 20 前記後胴周り域の少なくとも一部に配置され、かつ前記幅方向に伸縮性を有する伸縮領域を有し、

前記低目付領域は、前記幅方向内側に向かうにつれて後方に延びる、請求項1に記載の吸収性物品。

[請求項4] (補正後)

- 25 一对の脚周り開口部よりも幅方向内側に位置し、前記前後方向に沿って伸縮可能な収縮部を有する起立性のレッグサイド伸縮部を備えており、

前記レッグサイド伸縮部の立ち上がりの基端部は、前記低目付領域に重なる、請求項1又は請求項3に記載の吸収性物品。

[請求項5] (補正後)

前記低目付領域は、前記前後方向に離間して複数設けられる、請求項 1 及び請求項 3 から請求項 4 のいずれかに記載の吸収性物品。

[請求項 6]

着用者の身体前側に配置される前胴周り域と、着用者の身体後側に配置される後胴周り域と、前記前胴周り域と前記後胴周り域との間に位置し、着用者の股下に配置される股下域と、を備え、

前記前胴周り域の外側縁と前記後胴周り域の外側縁とが接合されたサイド接合部と、

10 吸収体が厚み方向に圧搾され、前記股下域から前後方向に延びる一对の股下圧搾部と、を有するショーツ型ナプキンであって、

前記一对の股下圧搾部の間隔は、前記股下圧搾部の後端縁に向かうにつれて短くなっており、

前記股下圧搾部の後端縁は、前記後胴周り域の前記サイド接合部の前端縁よりも前側に位置し、

15 前記股下圧搾部の前端縁は、前記前胴周り域の前記サイド接合部の後端縁よりも前側に位置する、ショーツ型ナプキン。

[請求項 7]

前記一对の股下圧搾部は、前記股下圧搾部の後端縁において連なっている、請求項 6 に記載のショーツ型ナプキン。

20 [請求項 8]

前記吸収体が厚み方向に圧搾され、前記股下圧搾部の後側において前記股下圧搾部と離間して配置された後側圧搾部を有する、請求項 6 又は請求項 7 に記載のショーツ型ナプキン。

[請求項 9]

25 前記吸収体は、前記吸収体の他の部位よりも目付けが低い低目付領域を有し、

前記低目付領域は、前記股下圧搾部の後端縁の前記幅方向外側に位置する、請求項 6 から請求項 8 のいずれかに記載のショーツ型ナプキン。

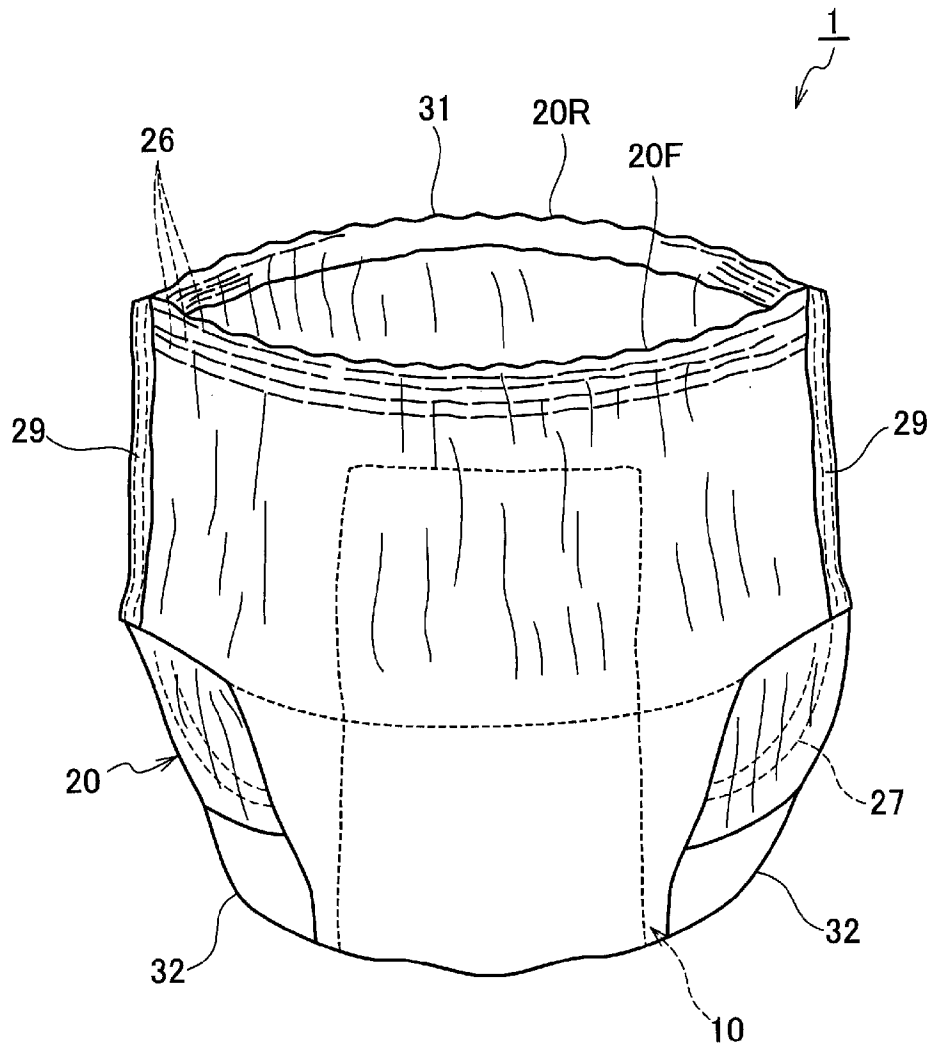
[請求項 10]

一对の脚周り開口部よりも幅方向の内側に位置し、前記前後方向に沿って伸縮

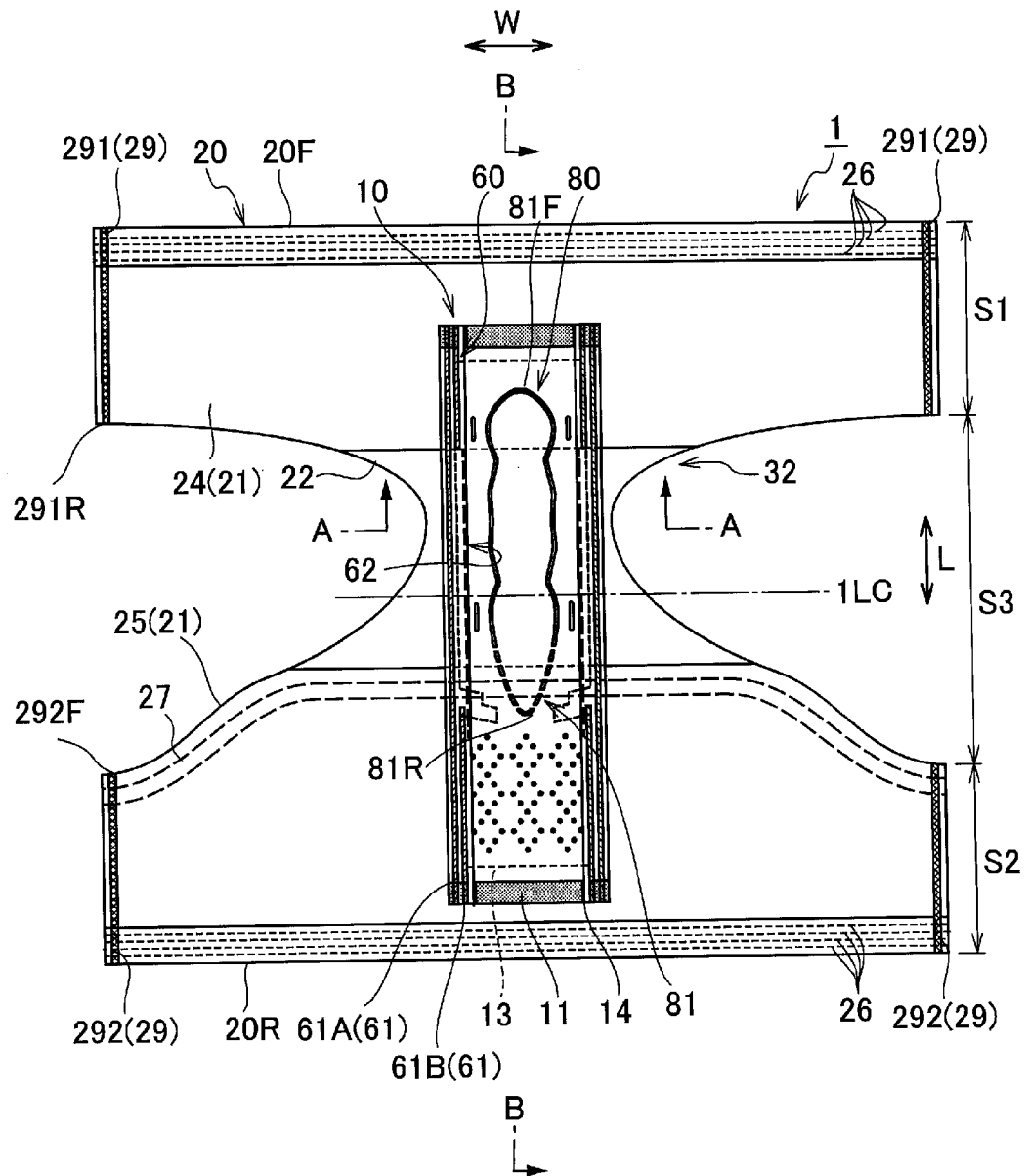
可能な収縮部を有する起立性のレッグサイド伸縮部を備えており、

前記レッグサイド伸縮部の立ち上がりの基端部は、前記後胴周り域の前記サイド接合部の前端縁よりも前側に位置する、請求項6から請求項9のいずれかに記載のショーツ型ナプキン。

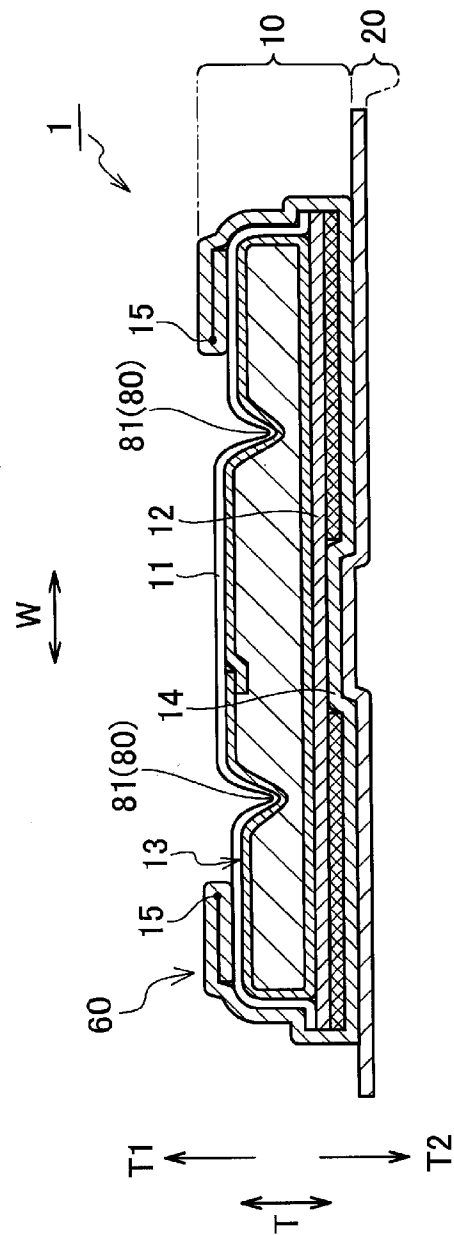
[図1]



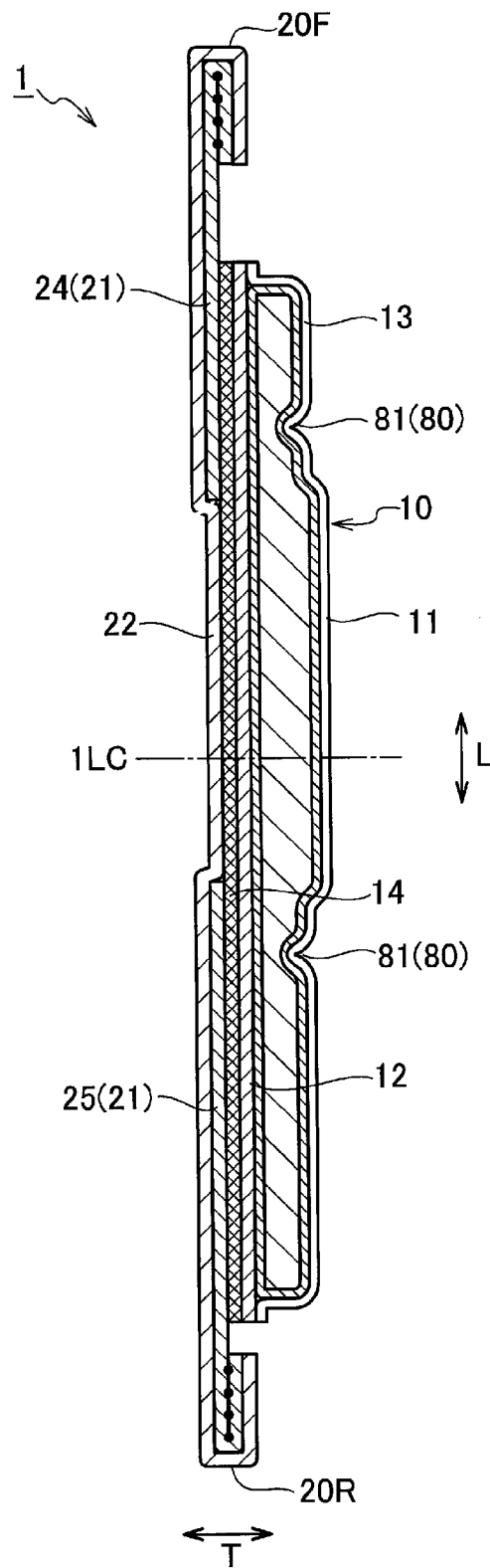
[図2]



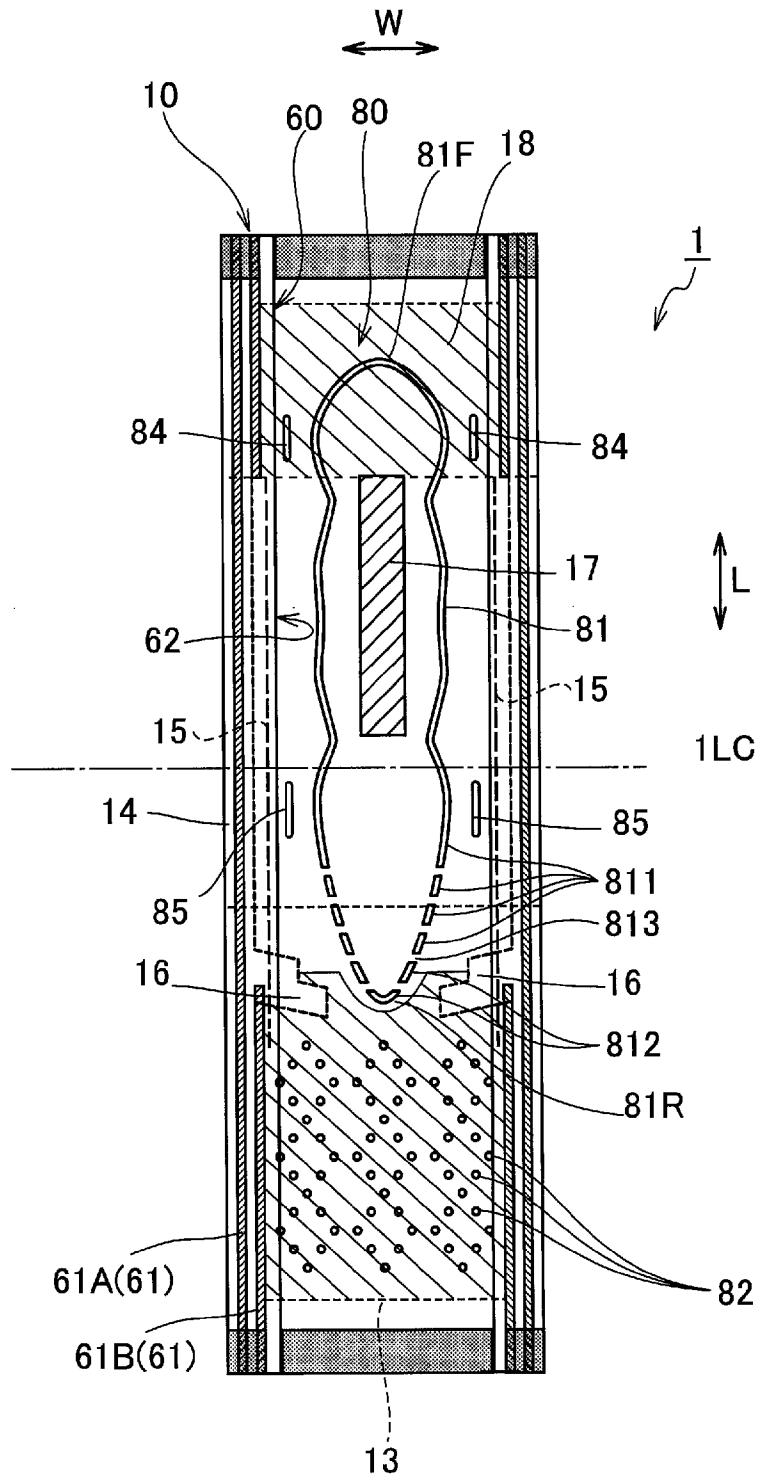
[図3]



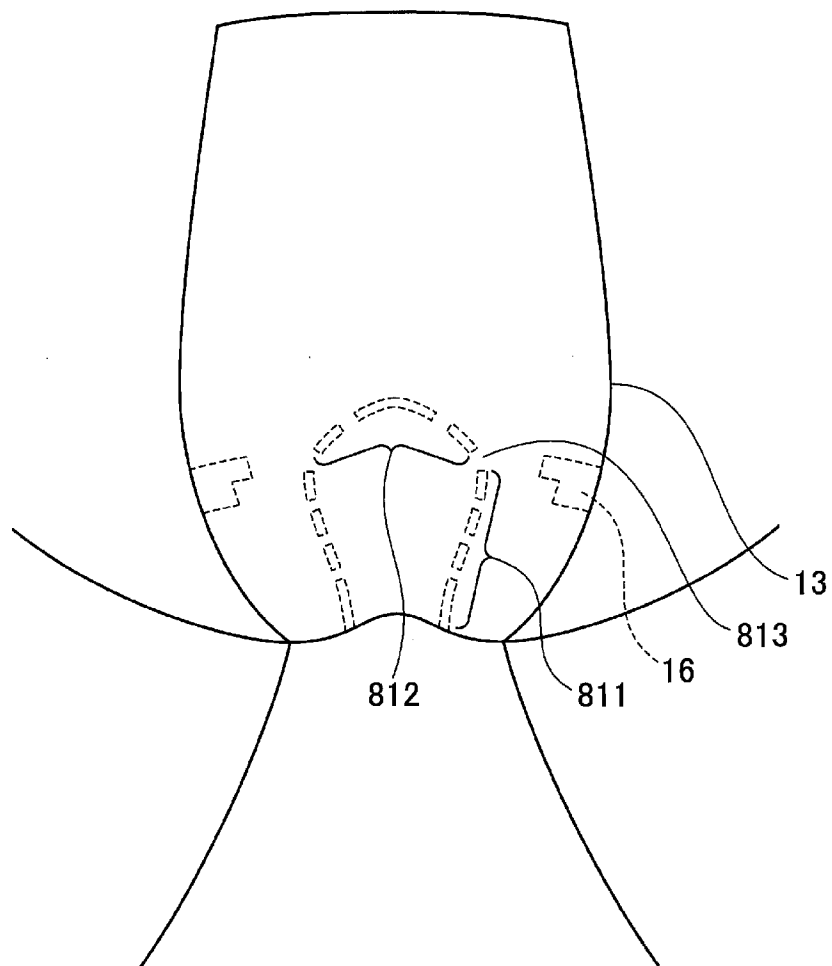
[図4]



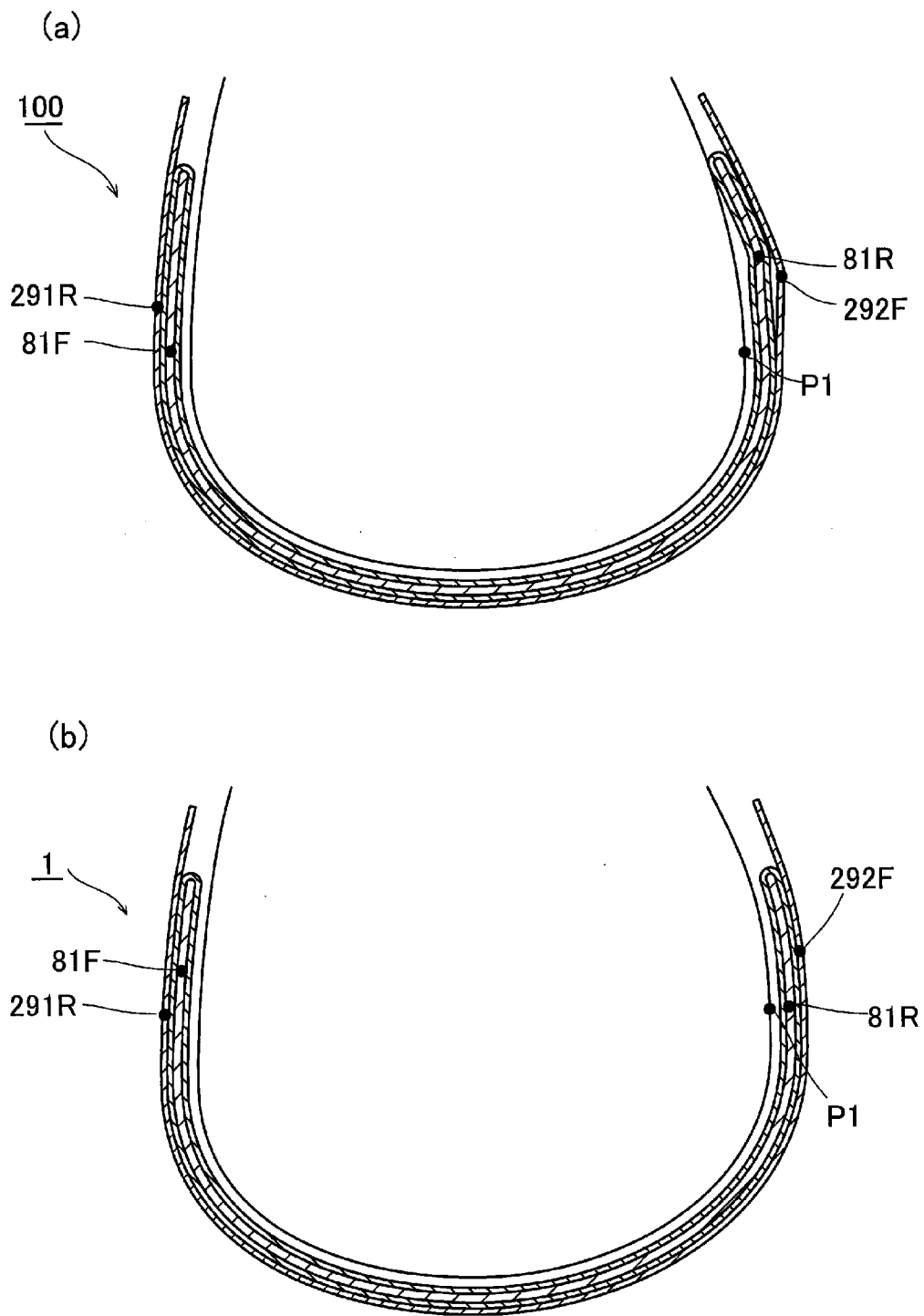
[図5]



[図6]



[図7]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2015/085424

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A61F13/15(2006.01)i, A61F13/472(2006.01)i, A61F13/53(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A61F13/00, A61F13/15-13/84

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2016
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2016	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2016

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y A	JP 2002-272769 A (Kao Corp.), 24 September 2002 (24.09.2002), paragraph [0023]; fig. 1, 5 (Family: none)	1, 3-5 2, 6-10
Y A	JP 11-70144 A (Kao Corp.), 16 March 1999 (16.03.1999), fig. 1 to 2 (Family: none)	1, 3-5 2, 6-10
Y A	JP 2002-301097 A (Pigeon Corp.), 15 October 2002 (15.10.2002), fig. 10 (Family: none)	1, 3-5 2, 6-10



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"I" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
11 March 2016 (11.03.16)

Date of mailing of the international search report
22 March 2016 (22.03.16)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2015/085424

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y A	JP 2009-153734 A (Kao Corp.), 16 July 2009 (16.07.2009), fig. 1 (Family: none)	5 1-4, 6-10
A	JP 11-99176 A (Uni-Charm Corp.), 13 April 1999 (13.04.1999), (Family: none)	1-10
A	JP 2007-117231 A (Daio Paper Corp.), 17 May 2007 (17.05.2007), & WO 2007/049725 A1	1-10
A	JP 2008-79745 A (Daio Paper Corp.), 10 April 2008 (10.04.2008), (Family: none)	1-10
A	JP 2008-515479 A (SCA Hygiene Products AB.), 15 May 2008 (15.05.2008), & US 2011/0144610 A1 & EP 1799169 A1 & CN 101035494 A	1-10

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2015/085424

Box No. II Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 2 of first sheet)

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1. ☐ Claims Nos.:
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:

2. ☐ Claims Nos.:
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:

3. ☐ Claims Nos.:
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).

Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 3 of first sheet)

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

Document 2: JP 11-70144 A (Kao Corp.), 16 March 1999 (16.03.1999), fig. 1 to 2 (Family: none)
 Claims are classified into the following two inventions.
 (Invention 1) claims 1-5
 Claims 1-5 are classified into Invention 1, since these claims have a special technical feature which is relevant to claim 1.
 (Invention 2) claims 6-10
 (Continued to extra sheet)

1. ☐ As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.
2. ☒ As all searchable claims could be searched without effort justifying additional fees, this Authority did not invite payment of additional fees.
3. ☐ As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:

4. ☐ No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:

Remark on Protest

- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest and, where applicable, the payment of a protest fee.
- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest but the applicable protest fee was not paid within the time limit specified in the invitation.
- ☐ No protest accompanied the payment of additional search fees.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2015/085424

Continuation of Box No.III of continuation of first sheet(2)

Claims 6-10 have a technical feature of "an absorbent article provided with a front waistline area, a rear waistline area, and a crotch area, the absorbent article having a side joined portion where an outer rim of the front waistline area and an outer rim of the rear waistline area are joined, and a pair of crotch compression portions in which absorbers are compressed in a thickness direction and which is extended from the crotch area in a front-back direction", which is common to claim 1 classified into Invention 1.

However, the above-said technical feature cannot be considered to be a special technical feature, since the technical feature does not make a contribution over the prior art in the light of the contents disclosed in the document 2 which has been cited in this international search report.

Further, there is no other same or corresponding special technical feature between claims 6-10 and claim 1.

Further, claims 6-10 are not dependent on claim 1.

In addition, claims 6-10 have no relationship such that these claims are substantially same as or equivalent to any claim classified into Invention 1.

Consequently, claims 6-10 cannot be classified into Invention 1.

Claims 6-10 have a special technical feature which is relevant to claim 6, and are therefore classified into Invention 2.

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. A61F13/15(2006.01)i, A61F13/472(2006.01)i, A61F13/53(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. A61F13/00, A61F13/15-13/84

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2016年
日本国実用新案登録公報	1996-2016年
日本国登録実用新案公報	1994-2016年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y A	JP 2002-272769 A（花王株式会社）2002.09.24, 段落 [0023], 第1図, 第5図（ファミリーなし）	1, 3-5 2, 6-10
Y A	JP 11-70144 A（花王株式会社）1999.03.16, 第1-2図 （ファミリーなし）	1, 3-5 2, 6-10
Y A	JP 2002-301097 A（ピジョン株式会社）2002.10.15, 第10図 （ファミリーなし）	1, 3-5 2, 6-10

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

11.03.2016

国際調査報告の発送日

22.03.2016

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（ISA/J P）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

米村 耕一

3B

3751

電話番号 03-3581-1101 内線 3320

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y A	JP 2009-153734 A (花王株式会社) 2009.07.16, 第1図 (ファミリーなし)	5 1-4, 6-10
A	JP 11-99176 A (ユニ・チャーム) 1999.04.13, (ファミリーなし)	1-10
A	JP 2007-117231 A (大王製紙株式会社) 2007.05.17, & WO 2007/049725 A1	1-10
A	JP 2008-79745 A (大王製紙株式会社) 2008.04.10, (ファミリーなし)	1-10
A	JP 2008-515479 A (エスセーアー・ハイジーン・プロダクツ・アー ベー) 2008.05.15, & US 2011/0144610 A1 & EP 1799169 A1 & CN 101035494 A	1-10

第Ⅱ欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見（第1ページの2の続き）

法第8条第3項（PCT17条(2)(a)）の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。

1. ☐ 請求項 _____ は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。
つまり、
2. ☐ 請求項 _____ は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
3. ☐ 請求項 _____ は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に従って記載されていない。

第Ⅲ欄 発明の単一性が欠如しているときの意見（第1ページの3の続き）

次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるところの国際調査機関は認めた。

文献2：JP 11-70144 A（花王株式会社）1999.03.16，第1－2図（ファミリーなし）

請求の範囲は以下の2つの発明に区分される。

（発明1）請求項1－5

請求項1－5は請求項1という特別な技術的特徴を有しているので、発明1に区分する。

（発明2）請求項6－10

請求項6－10は、発明1に区分された請求項1と、「前胴周り域、後胴周り域、及び股下域を備え、前記前胴周り域の外側縁と前記後胴周り域の外側縁とが接合されたサイド接合部と、吸収体が厚み方向に圧搾され、前記股下域から前後方向に延びる一対の股下圧搾部とを有する吸収性物品」という共通の技術的特徴を有している。

1. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求項について作成した。
2. ☒ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求項について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったため、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求項のみについて作成した。
4. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったため、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求項について作成した。

追加調査手数料の異議の申立てに関する注意

- ☐ 追加調査手数料及び、該当する場合には、異議申立手数料の納付と共に、出願人から異議申立てがあった。
- ☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあったが、異議申立手数料が納付命令書に示した期間内に支払われなかった。
- ☐ 追加調査手数料の納付はあったが、異議申立てはなかった。

第Ⅲ欄の続き

しかしながら、当該技術的特徴は、国際調査報告で引用された文献2の開示内容に照らして、先行技術に対する貢献をもたらすものではないから、特別な技術的特徴であるとはいえない。また、請求項6-10と請求項1との間に、他に同一の又は対応する特別な技術的特徴は存在しない。

さらに、請求項6-10は、請求項1の従属請求項ではない。また、請求項6-10は、発明1に区分されたいずれの請求項に対しても実質同一又はそれに準ずる関係にはない。

したがって、請求項6-10は発明1に区分できない。

そして、請求項6-10は、請求項6という特別な技術的特徴を有しているので、発明2に区分する。